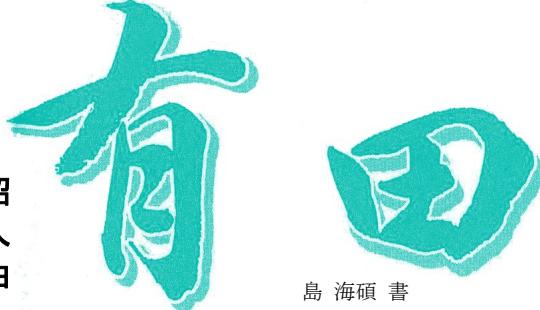


No. 3137

2025-2026年度

会長 木本 隆昭
幹事 児嶋 正人
クラブ 広報小委員長 福田 一由



～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



よいことの
ために
手を取りあおう

本日のプログラム

令和7年12月25日 第3138回

- ・前期委員会活動報告
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3137回例会）

開催日 令和7年12月18日(木)

点鐘 [木本会長]

ゲストの紹介

[クラブ管理運営委員会 橋爪(誠)委員長]
ゲスト:神山 裕介 氏
(株)TechnologyDock 代表取締役社長

ニコニコ箱の報告 [川口SAA]

木本君:株式会社 TechnologyDock 代表取締役社長
神山裕介様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

児嶋君:神山裕介様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

石垣君:神山裕介様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

岩橋君:神山裕介氏、卓話よろしくお願ひします。

上野山(捷)君:神山裕介様、ようこそ有田RCへお越しくださいました。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

宮井君:神山裕介様、ようこそお出で下さいました。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

松村君:神山裕介様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。早退させていただきます。

橋爪(誠)君:神山様、ようこそ有田RCへ。卓話よろしくお願ひします。

井上君:神山裕介様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

菅原君:神山様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

嶋田君:神山裕介様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう
みんなに会おう」



次回のお知らせ

令和8年1月8日 第3139回

- ・新年家族例会
- 年頭所感 (松村 秀一 君)
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

手島君:神山様、興味深い内容、楽しみに聴かせていただきます。

福田君:神山裕介様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。本日は、社用により1時15分頃に退席させていただきます。

川口君:神山裕介様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。勉強させて頂きます。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 橋爪(誠)委員長]
本日の出席者16名／24名
(うち出席規定免除者6名／7名)

会長の時間 [木本会長]

皆さん、こんにちは。
最近、日本各地では地震や火事が多発しています。地震は大きなものでは12月8日には青森県東方沖地震が発生しました。火災は11月18日に発生した大分県の佐賀関大規模火災をはじめ、日本各地で毎日のようにニュースで報道され、和歌山県内においてもあちこちで発生しています。日本には昔から防災意識を高めるための警鐘として、「地震、雷、火事、親父」という言葉があります。これは、昔から人々が最も恐れるものを順に並べたことわざ・表現で、自然災害と父親の怖さを表しています。また、親父は台風の事を表すとの説もあります。「地震、雷、台風」による被害は自然災害、すなわち天災ですが、火事は人間の不注意による人災であることが多いです。地震や落雷による火災などの例ありますが、消防庁の統計でも、失火が火災原因の76%を占めると発表しています。



失火が火災の大きな原因であるなら、火事はみんなで気をつければ発生を抑えることができると思います。特に、昔

の日本では木造建築が多かったため火元に対する注意喚起には力をいれてきました。火事のニュースは毎日のように報じられますが、火事への警鐘「火の用心」という言葉は、最近はあまり聞かなくなつたように思います。昔CMで流れていた「戸締り用心、火の用心」の歌も、火元に対する注意喚起としていまでも頭の中に残っています。私たちは火事の発生しやすい季節を迎えており、周囲にも「火の用心」を注意喚起することが大事だと思います。

話が変わりますが、「戸締り用心、火の用心」で思い出すのが、「世界は一家、人類みな兄弟」という言葉です。この言葉の意味は、国境や民族、文化を超えて、すべての人類は一つの家族であり、互いに助け合う兄弟姉妹のような存在であるという、博愛精神、平和主義、国際協調の精神を表現しています。私は今ロータリアンの一人として、幼いころより聞いていたこの言葉がロータリーの重点分野に通じていたのだと改めて実感しています。

幹事報告

[児嶋幹事]

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会からハイライトよねやまが届いています。
2. 一般社団法人 比国育英会バギオ基金より2024年度事業報告書が届いています。
3. 国際ロータリー 第2640地区 2027-2028年度ガバナー候補者が選出されたことの案内が届いています。
4. 例会変更の案内 後方掲示



卓話



株式会社TechnologyDock
代表取締役社長
神山 裕介 氏

略歴

FA(工場自動化)・ロボット制御の研究開発、金融システム開発を経て、シンガポールのヘッジファンドにてCTOとして従事。東京大学大学院工学系研究科・松尾豊研究室のAI関連寄付講座修了。ブロックチェーン関連技術にて特許取得。2021年、和歌山にて株式会社TechnologyDockを創業。AI・データ分析を活用した中小企業の経営支援、特に柑橘産業の構造的課題解決に注力している。

「データ処理という一本の軸

一工場から金融、そしてみかんへ」

株式会社TechnologyDockの神山裕介と申します。本日は「データ処理という一本の軸」というテーマでお話しさせていただきます。

私のキャリアは、FA(工場自動化)から金融システム、シンガポールでのヘッジファンド業務、そして現在の和歌山での中小企業支援と、一見バラバラに見えます。しかし実は、すべて「データを使って複雑な判断を自動化・最適化する」という一本の軸でつながっています。

現在、私が最も力を入れているのが、柑橘産業の選果機プロジェクトです。地域の選果場が直面する設備更新問題は、億単位の投資負担により、中小規模の事業者の存続を脅かしています。

この課題について、実は会社設立当初から地域の関係者の方々に何度も相談を受けてきました。しかし正直に言えば、当時の技術では実現困難でした。従来の画像処理技術では、みかんの微妙な品質を判定するのに限界があつたのです。

状況が変わったのは、ここ数年のAI技術の革命的進化です。最新の画像認識技術により、AIが自ら判断基準を学習できるようになりました。これにより、5年前には「無理」だったことが「できる」に変わったのです。

私の提案は「電子頭脳だけを更新する」というアプローチです。既存のベルトコンベアは活かしつつ、AI搭載の安価なカメラとコンピュータに重点投資することで、従来の10分の1程度の予算規模を目指しています。

また、産業構造も垂直統合から水平統合へと移行しています。選果機メーカーの技術室長と協議し、機械部分は選果機メーカーが、判定エンジンは私たちが担当するという役割分担が実現しました。まさに「餅は餅屋」です。グローバルな世界で得た知見を、最も身近な場所で活かす。抽象的な理論を、具体的な解決策に落とし込む。大規模資本の論理ではなく、地域の強靭さを守る選択をする。これが、私が和歌山に戻り、この仕事に取り組む理由です。

最近、男女の双子が生まれました。子供たちが大きくなつたとき、故郷が豊かで誇りを持てる場所であつてほしい。そのために今、できることを具体的に形にしていきます。

閉会・点鐘

[木本会長]



次週1/1は休会です

1月8日(木)は
新年家族例会です。

皆さま、ご参加ください

